

このたびは、産業用無線 LAN アダプタ DAP-A1 をお買い上げいただきまことにありがとうございます。

DAP-A1 は産業環境下でも接続信頼性の高い、機能豊かな産業用無線 LAN アダプタです。PoE 機能に対応し、DC パワーサプライを設置しにくい場所でも LAN ケーブル 1 本で簡単に導入ができます。

本製品を正しく安全にご使用いただくため、ご使用前に本書及びユーザーズマニュアルをよくお読みください。

▶▶ **ユーザーズマニュアルは弊社ホームページよりダウンロードしてご使用ください。**

www.diatrend.com | 「TOP」ページ → 「ダウンロード」 → 「マニュアル」 → 「DAP-A1 ユーザーズマニュアル」

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
- 不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）特定の人物になりすまして通信し不正な情報を流す（なりすまし）傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をさせてしまう可能性があります。

本来、無線カードやアクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

社団法人・・・電子情報技術産業協会（JEITA）無線セキュリティに関するガイドライン（改訂版）

★本製品の仕様、デザイン、マニュアルの内容は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。★このマニュアルに記載された仕様等は 2025 年 9 月現在のものです★Diatrend はダイアトレンド株式会社の登録商標です。★その他の記載された社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です。★本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、弊社では海外での保守サービス及び技術サポートは行っておりません。

最新情報については弊社ホームページをご覧ください。製品情報も提供しております。

お寄せいただく質問の中で多いものを「よくあるご質問 FAQ」として掲載しておりますのでご利用ください。（「TOP」→「お問い合わせ・サポート」）
https://www.diatrend.com/toiawase3.htm

■ダイアトレンドホームページ www.diatrend.com

ダイアトレンド株式会社

〒530-0011 大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪タワーB 28F

商品購入に関するお問い合わせ 大阪 (06) 7777-9339
東京 (03) 4589-8002

技術に関するお問い合わせ 大阪 (06) 7777-9444
東京 (03) 4589-8001

e-mail info@diatrend.com

安全に関するご注意

お使いになる人や他の人への危害・財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。ご使用の際は必ずお守りください。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し説明しています。

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。
危険	この表示の欄は「死亡または重傷等を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	パソコンや周辺機器の指示する警告、注意を厳守する 動作不良の原因になります。
	分解、改造、直接半田付けしない 発熱・発火・破裂のおそれがあります。
警告	この表示の欄は「死亡または重傷等を負う可能性が想定される」内容です。
	本体に水等をかけたり、濡れた手で触れたりしない 感電のおそれがあります。
注意	この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。
	強い衝撃を与えない 本製品は精密電子機器ですので故障の原因になります。
	煙が出たり、変なにおいがするときは電源を抜く 火災の原因になります。お買い上げ販売店または弊社に修理を依頼してください。
	取り付け、取り外し時は電源を切ってから行う 感電や故障の原因になります。

製品に関するご注意

DAP-A1 は日本の電波法における「小電力データ通信システムの無線局の無線設備」として技術基準適合証明を受けているため、無線免許は必要ありません。また、DAP-A1 は日本国内の電波法により認定を受けたものであるため海外では使用できません。DAP-A1 を分解及び改造する、本体に貼ってある証明ラベルを剥がす等の行為を行うと法律で罰せられることがあります。

安全に関する警告

1. 安全上および正常な動作のために、電力線や電話線から離して設置してください。
2. DAP-A1 を安全に設置するために、設置の前に後述の「設置に関する警告」をお読みください。
3. 別売りの指向性アンテナを使用中はアンテナの正面に立たないでください。伝送時に強い磁界が発生します。

設定に関するご注意

無線及びネットワークについての詳しい知識が必要です。無線及びネットワーク設定に詳しい管理者がセットアップを行ってください。

設置に関する警告

1. DAP-A1 は屋内用ですので、屋外での使用は保証できません。屋外で使用する場合はボックスに入れる等 DAP-A1 本体を保護した上で、別売りの屋外用アンテナを組み合わせてご使用ください。
2. 別売りの屋外用アンテナを屋外に設置する際、アンテナ付近に避雷機を設置することで、雷による故障が軽減される可能性があります。雷による故障は保証できません。付属アンテナ・別売りの屋外用アンテナを取り付ける際は必ず電源を切った状態で行ってください。
3. DAP-A1 は 2.4GHz 帯の無線電波を使用するため電子レンジ等の産業・化学・医療用機器のほか、移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局等に対して電波干渉を起こす可能性があります。万一弊社製品を使用した際に電波干渉が発生した場合、DAP-A1 の使用周波数を変更するか電波の発射を停止した上で、干渉が起こらないようパーティションで区切る等の処置を行ってください。
5. DAP-A1 を設置する際は、電気溶接機などの強いノイズを発生させる機器の近辺に設置しないでください。
6. 別売りアンテナを屋外に設置する際は、次のことに注意してください。
 - 金属製のはしごを使用しないでください。
 - 雨の日や風の強い日には設置しないでください。
 - 皮製の靴、手袋を使用し、長袖のシャツまたはジャケットを着用してください。

概要

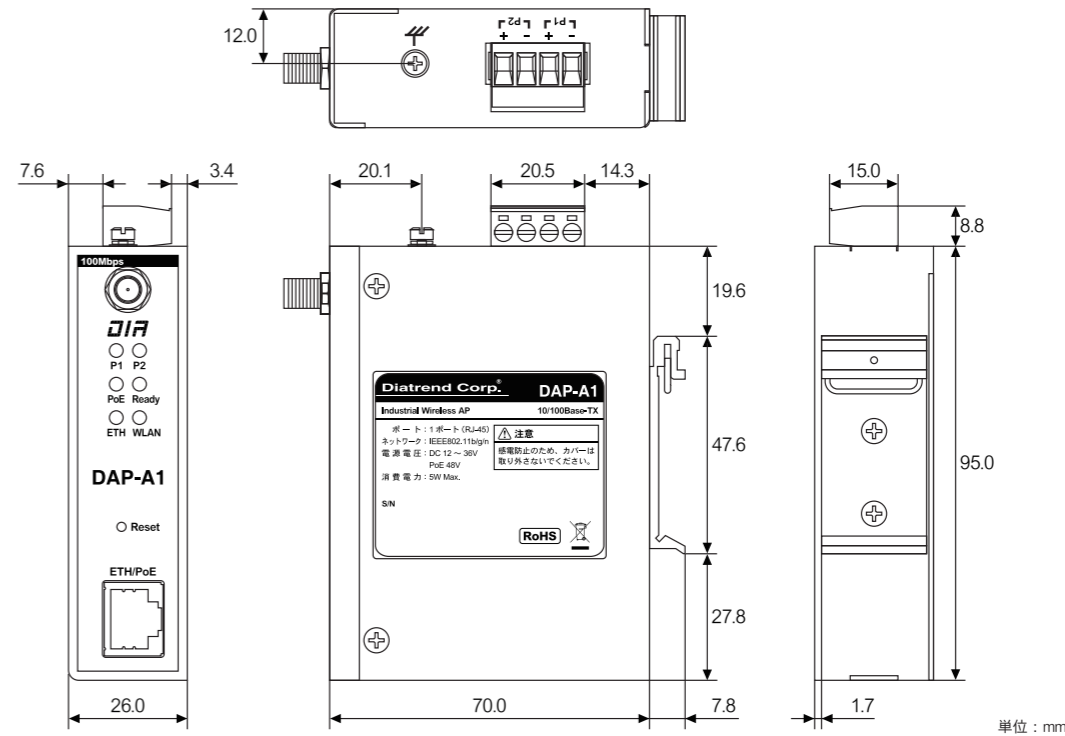
本書では、DAP-A1 をご使用いただく際の基本的な設定について記載しています。DAP-A1 本体の詳細な設定方法、設置方法、取扱いおよび各機能の詳細につきましては弊社ホームページよりユーザーズマニュアルをダウンロードしてご確認ください。また、本書は DAP-A1 が工場出荷直後の初期値の状態での手順を説明しています。設定変更後に再度本書に沿って設定を行う場合は、変更した設定（IP アドレス等）に置き換えてお読みいただくか、設定を工場出荷値に戻してから設定を行ってください。設定を工場出荷値に初期化する場合は、本体正面下部の Reset スイッチを長押し（3 秒以上）してください。

- 特長
- IEEE802.11b/g/n に準拠
 - IEEE802.3u 規格に準拠
 - PoE (48V) による電源供給に対応、IEEE802.3af 規格準拠
 - アクセスポイント、ステーションモード、アクセスポイント+ステーションモードの 3 つの動作モードを搭載
 - セキュリティに WEP、WPA-PSK、WPA2-PSK をサポート
 - Web ブラウザによるユーザーフレンドリな設定
 - 無線 LAN ローミング機能対応
 - ご使用方法に合わせたアンテナの付け替えが可能（注 1）（※ 1）
 - DIN レール取り付け可能
 - 電源：DC12V ～ 36V（冗長電源）（※ 2）（逆極性保護）
PoE 受電時 DC48V（IEEE802.3af 準拠）
 - 伝送速度（MAX）：有線 10/100Mbps、無線 72.2Mbps

パッケージの中身を確認する
ご使用前に、下記に記載された項目が梱包されているか、また製品の状態を確認してください。

- DAP-A1 1 台
 - 標準アンテナ 1 個（注 1）
 - DIN レール取り付けマウント（本体に付属） 1 セット
- 万一不足がございましたら、お買い上げ販売店または弊社までご連絡ください。シリアル No. は側面シールに記載しております。

外形図



※付属アンテナ取り付け時の寸法は、26.0 × 113.8 × 165.0mm [W × D × H (MAX)] です

（注 1）指定のアンテナ以外でのご使用は電波法違反となります。また、電波法は日本国内のみ取得しています。アンテナを付け替える際は必ず電源を切っていることを確認してから行ってください。（※ 1）アンテナの放射パターン図面についてはユーザーズマニュアルの「付録 アンテナ放射パターン」をご参照ください。（※ 2）1 系統での使用可能です。2 系統入力することにより電源の冗長化が可能です。

仕様

ネットワーク規格	ワイヤレス	IEEE802.11 b/g/n
	イーサネット	IEEE802.3 /u
電波周波数		2.4GHz
伝送速度 (MAX)	2.4GHz	72.2Mbps 11n 時
	イーサネット	100Mbps
ポート数		RJ-45 : 1 ポート (PoE)
標準アンテナ (注 1) (※ 1)		2.7dBi 無指向アンテナ 1 本
ユーティリティソフトウェア		設定ユーティリティ (Web ブラウザからアクセス)
対応 Web ブラウザ		Google Chrome
セキュリティ		WEP、WPA、WPA2、WPA&WPA2
電源		PoE 受電 (IEEE802.3at 準拠) または電源端子 (DC12-36V) (冗長電源) (※ 2) (逆極性保護)
消費電力 (MAX)		5W
MTBF		350,000 時間
適合規格		TELEC、EN61000-4-2、EN61000-4-3、EN61000-4-4、EN61000-4-5、EN61000-4-6、EN61000-4-8、IEC60068-2-6、IEC60068-2-27、IEC60068-2-32、FCC Part 15、CISPR (EN55022) クラス A
取付方法		DIN レール取り付け
動作温度		-40 ～ 65℃
保存温度		-40 ～ 80℃
動作湿度		5 ～ 95% RH、結露なきこと
保存湿度		5 ～ 95% RH、結露なきこと
保護構造		IP30
外形寸法 (W × D × H)		26.0 × 70.0 × 95.0mm (アンテナ部及び突起部含まず)
本体重量		250g (DIN レール取り付けマウント含まず)

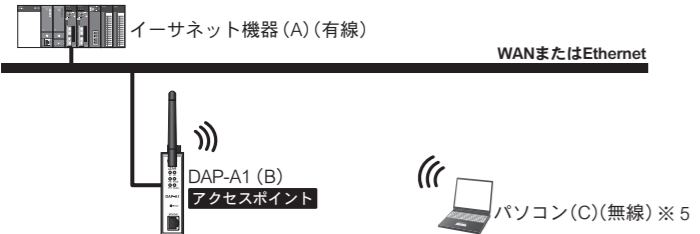
設定

各モードで使用する場合の DAP-A1 及び接続する周辺機器の IP アドレス設定までの手順について説明します。(※ 4)

各機能の詳細についてはユーザーズマニュアルをご参照ください。また、セキュリティに関する設定も行ってください。

別売りアンテナをご使用いただく際は、付属のマニュアルをご確認ください。

1 有線イーサネット機器を無線化して無線 LAN 機能搭載のパソコンと接続する場合



【DAP-A1 の設定箇所】

- 動作モード：アクセスポイント
- IP アドレス：任意
- SSID：任意

1. 接続するイーサネット機器、DAP-A1、パソコンに割り当てる IP アドレスを決めます。(※ 4) (※ 6)

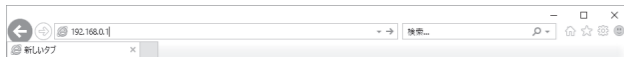
(例) イーサネット機器 (A) (有線) : 192.168.3.1
DAP-A1 (B) : 192.168.3.10
パソコン (C) (無線) : 192.168.3.100
サブネットマスクは各機器「255.255.255.0」に設定

2. 接続するイーサネット機器 (A) の IP アドレスを設定します。例として今回は「192.168.3.1」に設定します。イーサネット機器の IP アドレスの設定方法はご使用のイーサネット機器の取扱説明書等でご確認ください。

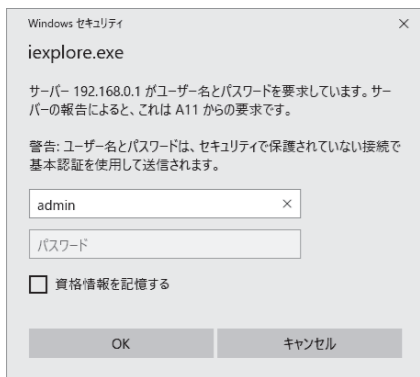
3. DAP-A1 (B) とパソコンを LAN ケーブルで接続してください。(※ 7)

4. パソコンから DAP-A1 (B) にアクセスするため、パソコンの「ローカルエリア接続」(有線) で使用する IP アドレスを DAP-A1 (B) と同じネットワーク上に設定してください。この時、DAP-A1 (B) の IP アドレスと同じ IP アドレス (初期値「192.168.0.1」) は設定できません。例として今回はパソコンの IP アドレスを「192.168.0.100」に設定します。

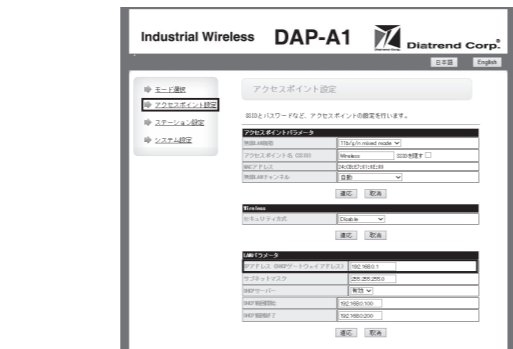
5. DAP-A1 (B) の電源を入れてください。WEB ブラウザを起動し、アドレスバーに DAP-A1 (B) の IP アドレス「192.168.0.1」を入力してください。



6. ユーザー名とパスワードを入力するページが立ち上がります。ユーザー名:「admin」 パスワード:「admin」を入力し「OK」をクリックするとインフォメーション画面が表示されます。



7. DAP-A1 (B) の工場出荷値は「動作モード」が「アクセスポイント」モードに設定されているため、IP アドレスのみ設定を行います。「アクセスポイント設定」→「LAN パラメータ」から「IP アドレス (DHCP ゲートウェイアドレス)」を選択して、IP アドレスを設定値「192.168.3.10」に設定します。適応をクリックし、「システム設定」→「再起動」より再起動ボタンをクリックし設定を完了させてください。(※ 8)

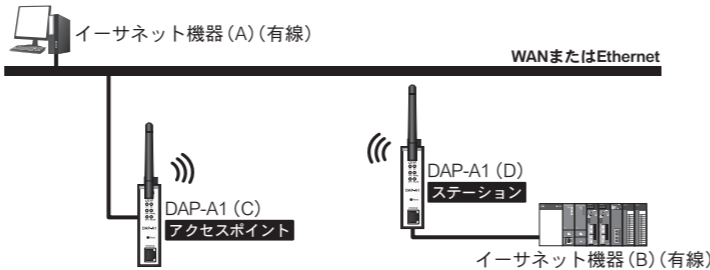


8. 使用するイーサネット機器 (A) と DAP-A1 (B) を LAN ケーブルで接続してください。(※ 7)

9. DAP-A1 (B) の IP アドレスを設定した後、パソコン (C) のワイヤレスネットワーク接続 (無線) で使用する IP アドレスを規定値「192.168.3.100」に設定します。

以上で設定は完了です。パソコン (C) の無線 LAN アダプタを使用して DAP-A1 (B) の SSID「Wireless」に接続すれば、イーサネット機器 (A) と接続できます。

2 有線イーサネット機器同士を無線で接続する場合 ～アクセスポイント/ステーション編～



【DAP-A1 の設定箇所】

- 動作モード：アクセスポイント/ステーション
- ネットワークモード：ブリッジ
- IP アドレス：任意
- SSID：任意

1. 接続するイーサネット機器、DAP-A1 に割り当てる IP アドレスを決めます。(※ 4) (※ 6)

(例) イーサネット機器 (A) (有線) : 192.168.3.1
イーサネット機器 (B) (有線) : 192.168.3.2
DAP-A1 (C) : 192.168.3.10 (アクセスポイント)
DAP-A1 (D) : 192.168.3.11 (ステーション)
サブネットマスクは各機器「255.255.255.0」に設定

2. イーサネット機器 (A) と「アクセスポイント」モードで使用する DAP-A1 (C) の設定については設定用のパソコンを用いて行ってください。設定については、「**1** 有線イーサネット機器を無線化して無線 LAN 機能搭載のパソコンと接続する場合」の 1～8 をご参照ください。

3. イーサネット機器 (B) の IP アドレスを設定値「192.168.3.2」に設定してください。イーサネット機器の IP アドレスの設定方法はご使用のイーサネット機器の取扱説明書等でご確認ください。

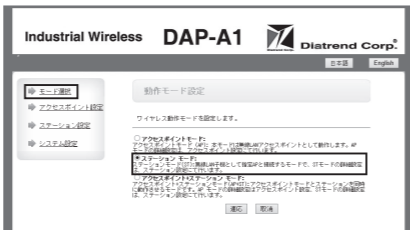
4. 「ステーション」モードで使用する DAP-A1 (D) を「**1** 有線イーサネット機器を無線化して無線 LAN 機能搭載のパソコンと接続する場合」の 1～6 までの手順で設定し設定ユーティリティにログインしてください。

5. 「アクセスポイント設定」→「LAN パラメータ」から「IP アドレス (DHCP ゲートウェイアドレス)」を選択して、DAP-A1 (D) の IP アドレスを設定値「192.168.3.11」に設定します。適応をクリックし、「システム設定」→「再起動」より再起動ボタンをクリックし設定を完了させてください。(※ 8)

6. パソコンの「ローカルエリア接続」(有線) で使用する IP アドレスを「192.168.3.X」に設定してください。X に「0,1,2,10,11,255」は使用できません。

7. WEB ブラウザを立ち上げ、アドレスバーに手順 5 で設定した DAP-A1 (D) の IP アドレス「192.168.3.11」を入力し、再度ユーティリティにログインしてください。

8. 「モード選択」→「ステーションモード」を選択します。適応をクリックし、「システム設定」→「再起動」より再起動ボタンをクリックし設定を完了させてください。(※ 8)



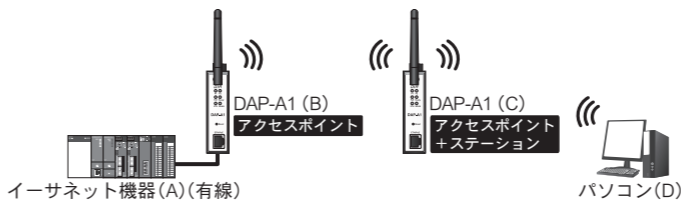
9. ページを更新後、「ステーション設定」→「ステーション動作モード」を選択します。デフォルトは「ルーター」になっているため「ブリッジ」に切り替えます。適応をクリックし、「システム設定」→「再起動」より再起動ボタンをクリックし設定を完了させてください。(※ 8)



10. DAP-A1 (C) と DAP-A1 (D) の工場出荷値は SSID が「Wireless」になっているため、手順 7 で行った DAP-A1 (D) の設定が適応された後、自動的に DAP-A1 (D) が DAP-A1 (C) に接続します。DAP-A1 (D) の LED (WLAN) が点灯していれば接続成功です。

以上で設定は完了です。DAP-A1 (D) と設定用のパソコンを接続している LAN ケーブルを設定用のパソコンから外しイーサネット機器 (B) に接続すれば、イーサネット機器 (A)、(B) 同士の通信が可能です。

3 有線イーサネット機器を無線化して無線 LAN 機能搭載のパソコンと接続する場合 ～アクセスポイント/アクセスポイント+ステーション編～



【DAP-A1 の設定箇所】

- 動作モード：アクセスポイント/アクセスポイント+ステーション
- ネットワークモード：ブリッジ
- IP アドレス：任意
- SSID：任意

1. 接続するイーサネット機器、DAP-A1 に割り当てる IP アドレスを決めます。(※ 4) (※ 6)

(例) イーサネット機器 (A) (有線) : 192.168.3.1
DAP-A1 (B) : 192.168.3.10 (アクセスポイント)
DAP-A1 (C) : 192.168.3.11 (アクセスポイント+ステーション)

パソコン (D) : 192.168.3.100
サブネットマスクは各機器「255.255.255.0」に設定

2. イーサネット機器 (A) と「アクセスポイント」モードで使用する DAP-A1 (B) の設定については、「**1** 有線イーサネット機器を無線化して無線 LAN 機能搭載のパソコンと接続する場合」の 1～8 をご参照ください。

3. 「アクセスポイント+ステーション」モードで使用する DAP-A1 (C) を「**1** 有線イーサネット機器を無線化して無線 LAN 機能搭載のパソコンと接続する場合」の 1～6 までの手順で設定し、設定ユーティリティにログインしてください。

4. 「アクセスポイント設定」→「LAN パラメータ」から「IP アドレス (DHCP ゲートウェイアドレス)」を選択して、DAP-A1 (C) の IP アドレスを設定値「192.168.3.11」に設定します。適応をクリックし、「システム設定」→「再起動」より再起動ボタンをクリックし設定を完了させてください。(※ 8)

5. パソコン (D) の「ローカルエリア接続」(有線) で使用する IP アドレスを「192.168.3.X」に設定してください。X に「0,1,10,11,100,255」は使用できません。

6. WEB ブラウザを立ち上げ、アドレスバーに手順 5 で設定した DAP-A1 (C) の IP アドレス「192.168.3.11」を入力し、再度ユーティリティにログインしてください。

7. 「モード選択」→「アクセスポイント+ステーション」モードを選択します。適応をクリックし、「システム設定」→「再起動」より再起動ボタンをクリックし設定を完了させてください。(※ 8)



8. ページを更新後、「ステーション設定」→「ステーション動作モード」を選択します。デフォルトは「ルーター」になっているため「ブリッジ」に切り替えます。適応をクリックし、「システム設定」→「再起動」より再起動ボタンをクリックし設定を完了させてください。(※ 8)



9. DAP-A1 (B) と DAP-A1 (C) の工場出荷値は SSID が「Wireless」になっているため、手順 7 で行った DAP-A1 (C) の設定が適応された後、自動的に DAP-A1 (C) が DAP-A1 (B) に接続します。DAP-A1 (C) の LED (WLAN) が点灯していれば接続成功です。

10. パソコン (D) のワイヤレスネットワーク接続 (無線) で使用する IP アドレスを規定値「192.168.3.100」に設定します。

以上で設定は完了です。パソコン (D) の無線 LAN アダプタを使用して DAP-A1 (D) の SSID「Wireless」に接続すればイーサネット機器 (A) と接続できます。

(※ 4) LAN ケーブルは付属していません。下記の LAN ケーブルをご確認ください。

- ・カテゴリ 5e 以上
- ・ストレートケーブルまたはクロスケーブル

(※ 5) IEEE802.11b/g/n 無線 LAN に対応したパソコンをご使用ください。

(※ 6) IP アドレスは設定例です。お客様のご使用になる環境に合わせてアドレス、サブネットマスクを割り当ててください。

(※ 7) PoE ハブより受電を行う場合は、ハブ経由で DAP-A1 との接続を行ってください。

(※ 8) 設定を反映させるためには、一度再起動を行う必要があります。

各機能の詳細についてはユーザーズマニュアルをご参照ください。また、セキュリティに関する設定も行ってください。ユーザーズマニュアルは弊社ホームページよりダウンロードしてご使用ください。

アフターサービスについて

■アフターサービス

お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合には、保証規定の内容に基づき修理致します。修理の際は、お買い上げ販売店または直接弊社にご依頼ください。

■保証規定

- ①保証期間は弊社から出荷して 12 ヶ月とします。
- ②保証期間内に正常なご使用状態で万一故障した場合には、無償で修理致します。
- ③保証期間内でも次のような場合には有償修理となります。
 - (1) 取り扱い上の誤りによる故障及び損傷
 - (2) お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷
 - (3) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、公害や異常電圧等による故障及び損傷
- ④次のような場合、有償でも修理できない場合があります。
 - (1) 修理価格が高額になる場合
 - (2) 不当な改造や修理による故障及び損傷
 - (3) マニュアルに記載されていない方法で使用された場合
- ⑤弊社はいかなる場合もおお客様の逸失利益、特別な事情から生じた損害及び第三者からお客様に対してなされた損害賠償請求に基づく損害について一切責任を負いません。
- ⑥本保証内容は、日本国内においてのみ有効です。

本製品 (ソフトウェアを含む) は日本国内仕様であり、弊社では海外での保守サービス及び技術サポートは行っておりません。海外への持ち出しに関しましてはおお客様の責任において法令に従い実施されるものと致します。

本製品は外国為替及び外国貿易法の「リスト規制品」に該当しません。日本国外への持ち出しの際も、国連武器禁輸国・地域 (輸出令別表第 3 の 2 の地域) を除き、輸出許可申請は必要ありません。本製品はキャッチオール規制の対象である輸出貿易管理令別表第 1 の 16 項に該当します。キャッチオール規制で定められている要件に該当する場合は輸出許可が必要です。

【安全保障貿易管理関連について】
経済産業省 安全保障貿易管理 (<https://www.meti.go.jp/policy/ampo/index.html>)
財団法人 安全保障貿易情報センター (<https://www.cistec.or.jp/>)

注意：電波法は日本国内のみ取得しています。